

シリーズ2 高大接続からみた探究活動

参加
無料

教職協働で育てる 「高大接続」

— 探究学習支援から教育共創へ —

「高大接続」の必要がとに言われるようになってから、すでに久しい時間が流れました。その当初課題は「学習指導要領」をプリンシプルとする教育課程とその圏外にある大学教育の効果的な「接続」を模索することにあります。しかしながら、今日の「新学習指導要領」の運用開始—すなわち「事実的知識を集積する学び」から「探究的・課題解決的な学び」へのソフトチェンジは今後の「18歳人口減少」の現実と相俟って、「高大接続」にますます重要な含みを与えています。だとすれば単なる入試接続ではない、本質的かつ重層的な「高大接続」の姿とは、いったいいかなるものなのでしょうか。またその具現化にはどんな大学側の組織体制や支援のかたちが、また高校側とはどのような教育連携やコミュニケーションが求められるのでしょうか。さらには大学の教学マネジメントサイクルへの影響は—。

皆さまの教育実践の現場にお役に立てるよう、これまでの大正大学の様々な試みをお話します。

講演者

山内 洋氏

(大正大学 理事長付特別補佐 (高大接続担当) / 日本文学科教授・学科長)

君島 菜菜氏

(大正大学 総合学修支援部 部長)

司会

片桐 昌直氏 (大学コンソーシアム大阪 高大連携部会 推進委員 / 大阪教育大学 副学長)

2023年 3月6日 月

18:00~19:30 オンライン開催

【対象】 高等学校・大学関係者 ほか

【定員】 80名(先着順、事前予約制)

【申込期限】 3月1日(水)

【申込方法】 申込フォームよりお申し込みください

【主催】 特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪

【後援】 大阪府教育委員会



申込フォーム▲

4 質の高い教育を
みんなに



開催趣旨

シリーズ1は、高大連携による探究学習の支援が求められる中、高大双方において試行錯誤している現状を踏まえ、教育支援を行う民間企業の視点から高大における教育の在り方について学ぶ機会としました。今回のシリーズ2では、大学が実践する高大連携による探究学習の好事例を学びながら、今後の円滑な推進のために高大双方に求められることについてともに考えます。



講師紹介

山内 洋 氏 プロフィール



大正大学 理事長付特別補佐、日本文学科教授・学科長
専門は日本近現代文学研究（中島敦研究、私小説研究、文芸批評など）
私立高校教員を経て大正大学に入職。高校教員時代には進学指導を統括した。大学では学長補佐時代に「3つのポリシー」の再策定を担当したことが「高大接続」により思いを致す機会となった。現在は理事長付特別補佐として学生募集全般にかかわるとともに大正大学高大接続パートナーシッププロジェクト（略称「S-U.P.P.」）運営委員長として、50校のパートナーシップ高校と連携する。

君島 菜菜 氏 プロフィール



大正大学 総合学修支援部 部長
外部研究機関の研究員を経て、大正大学全学副専攻の教員に転職。同大地域連携部門開設時にセンター課長（職員）に異動し、教育開発推進センター所管教務部教育支援課長を経て、現在は総合学修支援機構所管部長を務める。マクロ・ミドル・ミクロのFD、学修支援、初年次共通教育、入学前教育を所管する立場で3ポリシー見直し、入試改革プロジェクトに関わり、現在は高大接続パートナーシッププロジェクト（S-U.P.P.）運営委員として高大接続事業に参画。

問い合わせ先

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪 事務局

TEL：06-6344-9560（平日9：30 - 17：30）

E-mail: koudai★conso-osaka.jp ※★を@に変えてください。

